

ダウンタイム無しで

ストレージ更改・データ移行が不要！

常に最新のテクノロジーと機能を利用可能

Pure Storageの保守Evergreen//Forever

従来のストレージとPure Storageの運用とライフサイクルの違い

従来のストレージにおける課題

Pure Storage

保守期間

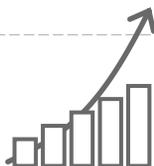
限定的

限定的で定期的に更改が必要

永続的

保守費用のみで長期利用が可能

経年の保守金額



年数が経過するごとに保守費用が上昇



常にフラット

システム更改



ストレージ更改・データ移行が必要



ストレージ更改・データ移行が不要

移行のコストとリスク



顧客負担



移行のコストとリスクゼロ

更改時のダウンタイム



新旧の切り替えで発生する可能性あり



無し

テクノロジーの追従



ストレージの買い替えが必要



保守費用で対応可能

Pure Storageは持続可能なITのために設計されたストレージ

2022年3月
ESG レポートリリース

- 高集積によりラックスペース削減
- 低消費電力により冷却コスト削減
- 部品数の削減と長い耐用年数によって長期間にわたり電子廃棄物を削減



ピュア・ストレージのアレイの

97%以上が

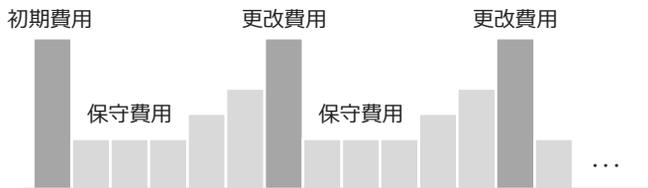
導入から6年後も現役稼働

データ・ストレージ・システムにおける直接的な炭素排出を

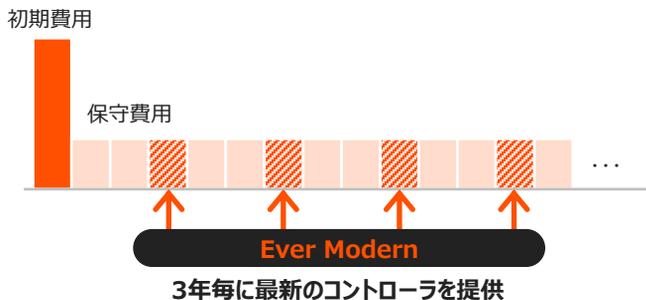
最大 80% 削減

変化の激しいIT環境にありながら、お客様の持続可能なITの目標達成を支援

一般的な保守内容



Evergreen の場合



最新コントローラを最短3年毎に提供

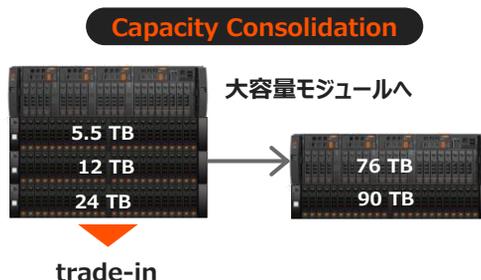
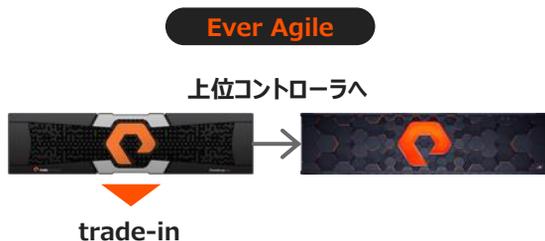
- **Ever Modern** ストレージは常に最新：最新のテクノロジー、性能、機能を使用可能
- ストレージのコントローラは、無停止でサービスに影響を与えず交換可能
- ハードウェアのサポート切れ・保守切れにともなうシステム更改・データ移行が不要

全てのソフトウェア機能が利用可能

- エンタープライズ・レベルの機能が、購入時に全て無償で利用可能
- エントリーからハイエンドモデルまで、同一のソフトウェアであらゆる規模の組織およびワークロードに対応
- 将来追加されるソフトウェア機能も、追加費用なしで利用可能

下取り付き (trade-in) でアレイアップグレード

- **Ever Agile** 最小限の費用でモデルアップグレード
- **Capacity Consolidation** より高密度な最新 Flash モジュールと交換しラックスペースを削減
- 最新の性能 & 容量密度を下取り (trade-in) で追求



保守とコントローラ交換のタイミングパターン

コントローラ交換タイミングは、3年保守を追加購入いただき、かつ現在のコントローラを3年運用している時
(記載以外のパターンもちろん可能です)

